山行報告書

受 付 №.	１０３	登山地・ルート	八ヶ岳主稜線
目　　的	歩行トレーニング		
メンバー	大山		
行動記録			

月　日　曜	天候	ポイント地点・所要タイム
7・26・日	曇り	浜松＝諏訪ＳＡ(仮眠)＝美濃戸口～美濃戸山荘～赤岳鉱泉～硫黄岳 5:21　6:00　7:20　8:52 横岳～赤岳～阿弥陀岳～行者小屋～美濃戸山荘～美濃戸口＝浜松 9:45　11:02　12:20　13:20　14:40　15:15
・　・		

記事　　目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

【美濃戸口～赤岳鉱泉】
美濃戸の駐車場から林道を少し下った所の空き地に止める。美濃戸までは行けない車をここに停めるメリットは、駐車料金以外に、下山後、林道最後の登り坂を歩かなくて済むというのが大きい。しかし空き地の 1/3 くらいに砂利が置かれていて、いつか停められなくなるのではないかと心配になった。鉱泉まで、休憩のタイミングを計っているうちに休憩せずに着いてしまった。後の行程に響かないか心配…。
【赤岳鉱泉～赤岳】
天気は雨が降ってないだけいいという感じ。硫黄岳に登ってもガスで視界はなく、ものすごい強風に吹かれた。しかし冷たい風ではなかったため、半そでのＴシャツで歩いていると周囲との温度差を感じる。カッパを着込んだ他の登山者から奇異の目で見られながら足早に山頂を去る。硫黄小屋まで、真っ直ぐに進めないくらいの風に晒され、さすがに冷えてきたのでカッパを着る。その先の稜線も、赤岳までガスの中を歩く。西面のバリエーションルートをなんとか確認しようとするが、やっぱりよく分らない。
【赤岳～阿弥陀岳】
赤岳に上がるとガスが切れ、阿弥陀岳を望めた。時間に余裕があったので、阿弥陀岳へも行くことにした。一旦下り、中岳を越えて阿弥陀岳へ。山頂は賑わっていた。
【阿弥陀岳～美濃戸口】
阿弥陀岳からの下りは長く感じた。行者小屋で休憩して１ピッチで美濃戸山荘へ。美濃戸山荘でひと息入れて駐車場へと戻った。帰りの温泉はいつもの「もみの湯」。
【1000 円高速】
浜松ＩＣから東海環状経由中央高速諏訪南ＩＣで下りて美濃戸口まで３時間弱で着いた。しかし帰りは中央高速の渋滞表示を見て飯田ＩＣで下り、下道で帰った。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成　　年　　月　　日	受付者	